

令和2年度広島市立広島特別支援学校中学部経営計画

中学部主事 森澤 真一

1 ミッション

チャレンジ・実現・貢献

2 学校教育目標

自立と社会参加を目指し、生きる力を育成する。

3 ビジョン

・可能性へのチャレンジ ・夢や希望の実現 ・社会に貢献

4 中学部教育目標

| | 小学部 経験 | 中学部 挑戦 | 高等部 自立 |
|--------------|---------------------------|------------------------------------|---------------------------------------|
| 知識及び技能 | ○基本的な生活習慣に必要な知識や技能の習得を図る。 | ○集団生活に必要な知識や技能の習得を図る。 | ○社会生活に必要な知識や技能の習得と活用を図る。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ○身近な人に自分の思いを伝える力を育てる。 | ○自分で考え、選択する力を育てる。 | ○自分で考え、相手や場に応じて行動する力を育てる。 |
| 学びに向かう力 | ○人やものに対する興味関心を育てる。 | ○人やものとかかわりながら、意欲的にやり遂げようとする態度を育てる。 | ○人やものとかかわりながら、働く喜びを感じ、主体的に取り組む態度を育てる。 |
| 人間性 | ○人やものとかかわる力を育てる。 | ○集団の中で、友達と協力する力を育てる。 | ○社会の中で、協調する力を育てる。 |

5 中学部学年目標（重点目標）

| | |
|------|--|
| 第1学年 | (1) 友達や教師とともに活動する楽しさを共有する力を育てる。 (2) 自分で進んで物事に取り組もうとする力を育てる。 |
| 第2学年 | (1) 友達や教師と協力して活動する力を育てる。 (2) 自分の役割を自覚し、自分がしたことへの価値や喜びを見出す力を育てる。 |
| 第3学年 | (1) 友達と協力して活動する力を育てる。 (2) 自分で考え、判断し、行動する力を育てる。 |

6 中学部経営目標

| |
|---|
| <p>挑戦 生徒が自ら進んで学習に参加し、主体的に生活する力を育む。</p> <p>(1) 生徒の障害の状態や特性及び課題について把握する。</p> <p>(2) 教員間の連携を密にし、個に応じた指導方法の工夫・改善に努める。</p> <p>(3) P D C A サイクルを用いて、教師、生徒、共に学び合う雰囲気をつくる。</p> <p>(4) 学習環境の美化と整備を進める。</p> |
|---|

7 中学部経営計画

| 領域 | NO | 短期経営目標 | 具体的方策 | 成果指標 |
|-----------------|----|--|--|--|
| 学力の向上・豊かな人間性の育成 | 1 | 生徒教師共に人間性を磨き合いながら成長するといった、主体的な学びの雰囲気を作る。 | ○自分の学級の生徒だけの担任ではなく、学校の児童生徒全員の担任である意識をもって生徒に指導・支援を行う。 | ★アンケートを実施。他の生徒とのかかわりを持つことができたと感じている割合が80%以上。 ★自分から挨拶ができていいる80%以上。 |
| 専門性の向上 | 2 | 発達課題・障害特性等の理解や指導方法についての研修を深め、P D C A を用いた授業改善を目指す。 | ○生徒の実態をつかみ、長期的なスパンでの指導・支援についての方策をP D C A を用いて研修する。 ○国語科または自立活動で授業作りシートを活用し、P D C A を用い、より良い授業づくりを行う。 | ★学部会でケーススタディを2事例以上行う。 ★全学級で授業作りシートを作成し、シート集を作る。（お互いに授業を見合う。） |
| 教育環境の整備 | 3 | 教室内外の物品等の整理整頓を行い、安全で清潔な教育環境にする。 | ○教室内外の整理整頓したり、衛生面に気を付け、清潔に保つ工夫を行ったりする。 ○中学部倉庫の整理整頓を行う。 | ★教室、廊下の整理整頓、掃除、除菌作業を毎日行い、掲示物を迅速に更新する。 ★倉庫の整理を年間2回行う。（夏季休業中など） |
| 新たな学校づくりの推進 | 4 | 業務改善を行い、超過勤務の縮減を図る。 | ○17時以降は、緊急性を要しない中学部関連の会議をしない。やむを得ず業務をする場合は、個人内での業務を行う。 ○生徒に向き合う時間を作るために、報告で終わる内容のものは掲示板等を活用するなど、事前に資料等を提示し、短時間で考えを出し合えるよう工夫をする。 | ★身体の健康を考え、超過勤務時間を月平均30時間を目指す。 |

* No. 1 は重点目標